

れは、やうだ、おひるね

、ゆ

、お

、お

、お





中
國
文
物
考
古
學
研
究
所

圖
書
室

五

あ復せ機婦ミリケ若生
小内承安心仕、旅、
疲、寢ミは休養モトシ
地、是早仕候以テ候ト
承テ、野々義治モ、立リニ
ないリド昨ナリ内也未、
は鳥居ノは達レ八支ノ
雄大、忍ミ、惠能、許サル
も有ミテ、小生憧憬様、地
二ト古タムシニテ、シテ有
訪、職アリテ、希志レ
大役、リ、求信其役ニミタ、
申シ、义アリセ、此ノソシ役
テ、内定ノ事、ナルヒノナリレ
け、愁保御ト、キ、委託シテ
近シテヒトリレ、心喜リル人ミ
シ、方ル人、少ヒトの度ニシテ

け愁はれりや おとづらね
辻にナヒリハ つまリヘ 人を
シ 実ル人 ハマトの道スニモ
起りルル不意、至^ス ま也
シテ又ヒノケテ示す流感にリ
第一身油キラクハモアリハル
ヒノ老ミ 間ヘレ 且^スン
求ムノヤ全ノ久野也近
ニサヌズ山々ナニカニモ候ハリ
アヒモ 乞ミハタリツモリハ清酒
初淡シヌチソレル 置シテ
一 乞ミ 沢上カニニシテ縛ハセシ
及ミテナム 小乞本の事ハ國
シ訪向候、歡喜モニ搞セキ、
シ自うりかニヨモ、又有リ
モ、シキも、要シテシテ
シ文、方シニテニ上モ乞レ
父、船尾の聲ハシ首尾用^ス
ス、ぬ感ニ基ルモト思付キ

「自らの身を守る事又省りぬ
に文、秀才もあらずとも、
父、船はる事かず首尾同調す
るぬ處、甚うモト思はまふ
か」(2)確立自信する事取
巻連、集せし。併々顯著如
山にさりてゆふ心の感情、所産、
れシカくは既せしと
其時、アハ、少くは無能
皆の如きが成る事、他に
喝レトニテ、アホトモ今
暫、ソレ地を踏みかね
まへ延べテ、又、解説
アナリ聖、教すアハ

今下手ナ方法ニテ あまくナ

大ひるのノ内ビシヨリ早速スルアト

アリカナ。其們レハ早速スルアト

アリカナ。其們レハ早速スルアト

はまく行キマス。且下スル物
内ア村ニ取工連泊シテアリ。アリ
トマサハ、ソレニモアリ。

此城ヲ近キハ内ア村ニ

ムカシ近村ニアリ。近村

別側ハソレアソニ。佐々木ト

生糸織テキ、糸織事。

ソレ穴レラソレミシギ一キアリ。

半升ナセ、三升ナホ。トセナ

モレソ相手はまくアリ。

計値三三三、四百四十ナリ。シム

タジアレヤセ止モスアリ。

兵威、又日、秀忠、毛利氏信也。

宿にまつりソレシテ一月の日

軍船ナリ、いかふ。ト也ク

ましロ相手は、もとアリ

計成ミテ、サムシガシナスル。

タジンヤセ止モハス。

神威、スル。あは、ニシテ能シ生

ヒヘキ、宣テ、トモセキマサ

シテ、ヨリ、モテ、石を、之カタ

スル。モテ、石を、之カタ

シテ、アタマ、モニ、化ねアリト

マサニ、アタマ、モニ、勧進ナリシテ

シテ、アタマ、振進シテ、アタマ、勧進

シテ、アタマ、モニ、勧進ナリシテ

モニ、アタマ、モニ、勧進ナリシテ

モニ、アタマ、モニ、勧進ナリシテ

モニ、アタマ、モニ、勧進ナリシテ

八のアタマ、モニ

時下

タヂシヤミ此ひもはスカシ

神威、スル。あはれ、こゑ能作生

ニヘリ、宣テ、モレハ、カニ

ムカ、ト、モタク、在キ、之カモ

タカ、タカシ、ジタルモセキ、

タカ、アタマ、モ、佐、佐野アリト

ヒ、草木、振過り、ア、め改、

サム、シ、ナ、御、モ、ナカシ、美

タシ、シナ、ト、ツメ、仰、カナリト、モ、アシ

ヒテ、社、畫、アシ、持、ナカ、シ、

カ、ヒ、上、王、モ、モ、モ、モ、

カ、有、チ、ヌ、不、知、難、モ、

ハ、田、ア、ミ、ト、株

時、下